

姉妹都市パサデナ市 親善訪問団2007



訪問の記録

2007年10月23日～29日

■訪問概要■

(第1日目)

成田空港午後4時出発

(日付変更線を越え、同日ヒューストンへ)

ジョージブッシュ空港に降り立ったときから、最終日までパサデナ市民の皆様にご心温まる歓迎をしていただき、感銘を受けた。

空港から約1時間半でラキータホテルへ到着。荷物を置き、1時間ほど休憩した後、歓迎夕食会会場へ。スパークス小学校所有の大型車2台で、なまず料理のレストランへ到着。

入り口で一人ひとりにレイをかけていただき、席へ。

ジャニスの歓迎あいさつの後、なまずのフライやエビフライなどをいただいた。

姉妹都市協会記念品として、オリジナルバッグなどをいただき、本市からも友好協会オリジナルTシャツを皆さんにプレゼントした。

夕食後、再びスパークス小学校の車でホテルへ。

(第2日目)

ホテルチェックアウト後、パサデナ市役所へ向かう。

● 市長表敬訪問

ジョンマンラブ市長が国会議員選挙(来年11月)に出馬するため、10月1日付をもって辞任、後任として、市議会議員であり、助役であったジャックダグラス氏が市長となった。12月8日には市長選が行われることになっており、2ヶ月任期の市長であったが、とてもにこやかに市長室へ迎えてくださった。



中村団長から市長へ兜を、福森副団長から飾り扇子、望月副団長から羽子板を贈呈した。

市長からも記念品(バックル)をいただき、他の訪問団員もバッグや市章入りのキャップなど、数々の記念品をいただいた。

その後、姉妹都市協会のメンバーでもあるジャッキーウェルチ市議会議員の部屋を見せていただいた。議員はそれぞれ個室が与えられ、壁などを好きな色に塗り替えてよいとのこと。絵画や写真コンクールに入賞したりボンなどが飾られた素敵な部屋だった。

歴代議員の肖像画が飾られた廊下を抜け、議場を見学。パサデナ市議会議員数は8名と少なく、議場もこじんまりしていた。傍聴は、自由で、前もって名前を記入すれば、発言も自由にできるという。

● スパークス小学校

小学校のエントランスには、「歓迎秦野市親善訪問団」(英語)と書かれた横断幕が掲げられ、小学校4年生の児童が出迎えてくれた。



団員のお土産に児童が群がり、あっという間にお土産がなくなった。ゲイル校長が「英語禁止！日本語でごあいさつよ」と教えこんだということで、「こんにちわ！ありがとうございます〜す！」と児童たちから元気な声が響いた。



その後、小学校のカフェテリアへ移動。先ほどエントランスで歓迎してくれた4年生の児童が舞台に上がり、歓迎の歌を2曲、振り付けがとても可愛い歌であった。そして、「糸竹舎」から贈られた琴3面で「さくら」を演奏してくれた。

糸竹舎のメンバーから音楽担当教師が教わり、児童に教えたそうだ。

テキサスの振りつきの陽気な歌がとてもかわいかったので、団員がアンコール、団員も振りを教えてもらい、一緒に踊った。



その後、各学年の授業を見学させてもらった。教科書はみな机の中においていき、家には持って帰らない。毎週、ホームワークブックを渡され、宿題をこなす。

黒板代わりに、ホワイトボードとよばれる板にパソコンの画面が映し出され、計算問題や、文章問題をこなす。「秦野から来た」というと、教師がインターネットをホワイトボードに映し出し、「日本の位置」「秦野の位置」を児童に教えていた。

クラスルームは仕切りがなく、オープンになっている。ハロウィンが近かったので、廊下やクラスルーム内はハロウィンの飾り付けでとてもカラフルであった。

また、廊下のあちこちには、100点や90点といった高得点を取った児童の答案用紙が「GREAT!!」という文字とともに貼り出されていた。個人情報など騒いでいる日本ではあり得ない光景であった。

現在、パサデナ市はメキシコからの移民が多く、人口の約70%、スパークス小学校においては、約85%がヒスパニック系であり、財政状況を圧迫しているとのことであった。言語も、英語を話せないため、スペイン語ができる教諭の確保が大変であるらしい。でも子供たちの笑顔は最高であった。

昼食後は、併設されている幼稚園、プリスクールを見学。「日本から来た」というと、教師が地球儀を用意し、日本の位置を園児に教えた。「車で行ける?」「どのくらいかかるの?」と素朴な質問が飛びかった。

● ガイダンスセンター

ガイダンスセンターは中学生から高校生の年代で学校で問題を起こした生徒が更正するための施設。問題の範囲は、「先生への暴言、暴力、反抗的な態度、喫煙」レベルで、問題のレベルによって最短3日から21日間まで通うことになる。

違法ドラッグなどは、もっと深刻な施設へ送られるということ。

ここでは、英語、数学、科学などの教科を勉強する。家族も子供がガイダンスセンターに通う間は「お弁当を持たせる」、「送迎をする」というペナルティーを課せられる。廊下には、喫煙、ドラッグを使わないよう啓発するポスターがあちこちに貼られていた。

● トンプソン中学校

渋沢中学校の友好校である。入り口で校長先生や他の先生方が迎えてくれた。校長先生の先導で、校内を見学。見学をしている間、生徒たちが教科書や筆記用具を持って教室を移動しているのを見た。アメリカでは、生徒が各教科ごとに教室を移動する。そのため、廊下にはたくさんのロッカーが設置されていた。



音楽の授業ではバイオリンを演奏してくれたり、女子生徒たちが合唱をしてくれたりした。体育館はとても広く、壁や床にはシンボルマークのライオンが描かれていて、バレーボールの授業が行われていた。校庭では男子生徒のアメリカンフットボールの授業が行われており、それぞれのユニフォームで授業が行われている。

ユニフォームで授業が行われている。

見学終了後、パサデナ市役所に戻り、迎えにきていた各ホストとホームステイ先へ。休憩の後、ホストとともに、歓迎パーティー会場へ

● 歓迎パーティー

ベイウッドカントリークラブというゴルフコース内にあるレセプションルームで行われた。ビュッフェ形式で、着席式。パサデナ市長、議員も出席され、特別ゲストとして、日本総領事も招待されていた。



ディナーを取りながら、少女のダンスを見たり、カントリーソングを聴いた。

パーティーの途中で記念品交換、写真撮影、中村団長、福森、望月両副団長、パサデナ市長、姉妹都市協会会長のあいさつが行われた。

最後に、ダンスチームが団員全員にダンスを教えてくれ、盛り上がった。

(第3日目)

6時半起床。ホストと朝食を済ませ、バスが待つパサデナ市役所へ。

スクールゾーンはスピード違反に特に厳しく、あちこちでスピード違反の車が警察に捕まっていた。

ガルベトンにあるムーディーガーデンへ。ピラミッド型の施設で熱帯雨林には、カラフルな鳥たちやイグアナが放し飼いになっていた。薄暗くなっているコウモリのコーナーには、その飛び交う姿に団員が悲鳴をあげていた。

● NASA スペースセンター



トリムというバスでセンター内を回る。アポロ13がはじめて月面着陸した当時の管制室や訓練用のスペースシャトルが配備してある宇宙飛行士訓練センター、そしてロケットを実際に見ることができる。姉妹都市協会会員のレオンサーシーさんのご息がスペ

ースセンターで宇宙飛行士のトレーナーをしており、訓練センターで拝見することができた。



長年、宇宙飛行士を目指していたが、無重力でのテストだけが何度受けても落ちてしまい、あきらめて、トレーナーになったそうだ。

(第4日目)

8時45分にパサデナ市役所集合、ヒューストン港へ

- ヒューストン港から船にのり、ヒューストンシップチャンネルツアー。

メキシコやキューバからの入国者が多いせいか、パスポートを持参し、船に乗る際に、見せなければいけない。約90分とかなり長い時間船に乗るため、酔い止めを飲んだにも関わらず、青少年の中には酔ってしまった子がいた。大きな貨物船が行き来している中を、進んでいく。

見学後、パサデナに戻り、昼食。(チャイナワンレストラン)

チャイナワンという名であるが、日本食、アメリカン、中華が楽しめるbuffetレストラン。自分で好きな具材を選び、その場で焼きそばや中華料理を調理してくれるコーナーもあった。

昼食後、サンジャシント記念塔へ

- サンジャシント記念塔

サンジャシント記念塔は、メキシコからテキサス州の独立を獲得するために戦ったすべての人々を追悼する記念碑として、建てられた。世界でもっとも高い石造建築の柱となっている。高さは約172.92メートル。

エレベーターが故障していたため、塔を昇ることはできなかったが、目の前にそびえ立つ塔に圧倒された。



- カベンダーウェスタンストアでショッピング。

2004年に訪問したメンバーからリクエストがあったウェスタンショップ。

ウェスタンブーツやカジュアルシャツ、ジーンズが広い店内に並ぶ。皮製品やベルト、バックルなどウェスタンアイテムが豊富であった。帰りには、ショップのオリジナル品を団員全員にプレゼントしてくれた。

(第5日目)

15時までホストとフリータイム。

昼食後、宿泊地であり、さよならパーティーの会場であるサウスショアハーバーリゾートホテルへ。

団員はさよならパーティーの余興として、着物、浴衣のファッションショー、はだの音頭を計画していたので、18時にミーティングルームで打ち合わせ。

● さよならパーティー

予定されていたマリアッチというバンドの演奏ができなくなり、急遽、オープニングでファッションショーをすることに。ゆかた、じんべい、振袖、ハッピーなどそれぞれが個性豊かな装い。パサデナの皆さんからたくさんの拍手をいただいた。

その後、ジャニス会長のあいさつに続き、メキシカンフードを中心としたビュッフェディナー。スパイシーだがとても美味しい料理であった。

歓談、パサデナ市長、中村副市長、福森議長、望月副会長のあいさつが続き、ラストは団員によるはだの音頭。そして、パサデナの皆さんとお別れのときが訪れてしまった。

さよならパーティー後、ジャニスからの提案で、ミーティングルームで今後の交流のため、今回の反省点や意見などを自由に語り合う場を設けた。

青少年からは、もう少し、パサデナの中高校生と触れ合う時間が欲しかったという意見が出た。そして、今後の青少年交流について、これまで独立教育学区、ジャニスと副市長の間で話し合った内容について団員に報告をした。

「帰りたくない」と泣き出す青少年が出るほど、団員全員、特に青少年や初めての参加者にとっては、パサデナ市民の温かさを十分に感じる事ができる7日間であったと思う。

(第6日目)

7時15分にホテルを出発。

バスが空港に着くと、カートを持った係員が来た。「荷物一つにつき、1ドルを払うと、空港まで運んでくれる」ということで、団員それぞれが払い、大型カートで空港まで運んでもらった。

見送りに来てくださったパサデナの皆さんと団員それぞれが、抱擁を交わし、お別れをした。



(第7日目)

日付変更線を超え、13時間半のフライト後、無事成田空港へ到着。

平成 19 年度姉妹都市パサデナ市親善訪問団団員名簿

1	氏名	中村良之	団長 秦野市副市長
2	氏名	福森 登	副団長 秦野市議会議長
3	氏名	望月國男	副団長 2006 ホスト
4	氏名	小島英之	友好協会役員
5	氏名	飯塚義一	2006 ホスト
6	氏名	長島節子	2004 訪問団員
7	氏名	玉川澄江	2003 ホスト
8	氏名	河口博子	03,06 通訳ボラ
9	氏名	野呂香	2004 訪問団員
10	氏名	野呂昌子	03,06 ホスト
11	氏名	山谷洋子	03,06 ホスト
12	氏名	山谷秀樹	03,06 ホスト
13	氏名	草山 晃	
14	氏名	田中裕子	高校生時訪問
15	氏名	田中廉乃	西中 2 年
16	氏名	恩地飛斗	大根中 2 年
17	氏名	村上 優	本町中 3 年
18	氏名	益子澄香	渋沢中 3 年
19	氏名	石井 さくら	湘南高 1 年
20	氏名	北村 あかね	ひばりが丘高 1 年
21	氏名	中村良典	議会事務局長
22	氏名	谷屋 彰	くらし安心部長
23	氏名	猪野紀子	市民自治振興課主任主事 事務局

